35 of 49 DOCUMENTS

COPYRIGHT: 1986, JPO & Japio

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

61175868

August 7, 1986

FINGERPRINT DISCRIMINATING DEVICE

INVENTOR: SUZUKI OSAMU

APPL-NO: 60017272

FILED-DATE: January 31, 1985

ASSIGNEE-AT-ISSUE: MITSUBISHI ELECTRIC CORP

PUB-TYPE: August 7, 1986 - Un-examined patent application (A)

PUB-COUNTRY: Japan (JP)

IPC-MAIN-CL: G 06K009#0

CORE TERMS: fingerprint, finger, recessed, prism, coincidence, reflecting,

processing, accuracy, card, rays, lens

ENGLISH-ABST:

PURPOSE: To make a device easy to put a finger and enable the device to improve accuracy of fingerprint reading by providing a recessed part copied after the shape of a finger on the fingerprint reading face outside of a prism reflecting face that reflects parallel rays of light from a lens.

CONSTITUTION: When parallel rays of light obtained through a lens 2 are projected on a prism 3, outside of the reflecting face forms a fingerprint reading face, and a recessed part 3a after the shape of a finger is formed at the center of the fingerprint reading face. When a person who registered fingerprints beforehand inserts an ID card into a card reader 7, and puts a specified finger on the concavity 3a of the prism 3, a camera 4 photographs the result and video signals are sent out to a picture processing section 5. The processing section A/D converts the signals and characteristic is compared through a characteristic parameter extracting section 6 and a coincidence detector 10, and if coincidence is recognized, a release command OPEN is outputted. Thus, by providing the recessed part 3a, the device is made easy to place a finger, and accuracy of fingerprint reading can be improved.

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61 - 175868

@Int_Cl.4

識別記号

29出

庁内整理番号

❷公開 昭和61年(1986)8月7日

G 06 K 9/00

A-8320-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

公発明の名称 指紋判別装置

②特 願 昭60-17272

願 昭60(1985)1月31日

70発明者 鈴 木

修 稲沢市菱町1番地 三菱電機株式会社稲沢製作所内

卯出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

20代 理 人 弁理士 大岩 增雄 外2名

明細書

1. 発明の名称

指紋判別装置

2 特許請求の範囲

(1)指紋リード面に指を置いて指紋を脱取つた情報と、予め配像させてある指紋データとの一致を検出する指紋判別装置において、前配指紋リード面に指を置くガイドを形成したことを特徴とする指紋判別装置。

(2)前配ガイドは指の形状に做つた凹曲面を有する特許請求の範囲第1項記載の指紋判別装置。

3 発明の詳細な説明

(産菜上の利用分野)

この発明は個人識別 (Idetification) を行なり 指紋判別装置に関するものである。

〔従来の技術〕

計算センター、金融機関、原子力発電所等の特別に監視を要する特定区域の出入口部における通行人の通行適否を判別する方法の1つに指紋の照合がある。

かかる指数の照合を自動的に行なり装置として、例えば、週刊宝石(昭和59年8月号第24号、第31号)誌上に発表されたI社の指数判別級があり、これは指を置く場所すなわち指数リード面が平担であつた。

[発明が解決しようとする問題点]

上記のように指紋リード面が平担な指紋判別装置では、指が置き難いばかりでなく、力の入れ方によつて指紋の形が変わることからその分だけ指紋銃取り精度が低下するという問題点があつた。

この発明は上記の問題点を解決するためになされたもので、指を置き易くすると共に、指紋説収り精度を大幅に向上させ得る指紋判別装置の提供を目的とする。

(問題点を解決するための手段)

との発明に係る指紋判別装置は、指紋リード面 に指を置くガイドを形成したものである。

(作用)

との発明においては、ガイドに従つて指を催け ば済むので、短時間にてその位置が確定され、さ らに、指が調楽むので無駄を力が加わることもなくなつて指紋説取り特度の向上を図り得る。

(実施例)

図は本発明の一製施例の構成を示すプロック図 であり、図中(1)は指紋説取り面を照射する光旗。 (2)は平行光級を作るレンズ、(8)はプリズムで、レ ンズ(2)を通して得られる平行光線を当てたとき反 射面の外側が指紋リード面になつており、この指 枚リード面の中心部位には選み(3a)が形成されし かもこの窪みは指の形状に倣つた凹曲面を有して いる。(4)はプリズム(8)の反射光を受けて指紋の映 像信号を送出するカメラ、(5)はアナログの映像信 号を入力してこれを A / D 変換した後、パターン 認識を行つて指紋のラインディタを出力する画像 処理部、(6)はこのラインディタをその人の特徴バ ラメータに変換する特徴パラメータ抽出部、(7)は 個人識別カード(IDカード)を脱収つてIDコ - ドを出力するカードリーダ、(8) はカードリーダ (7)の出力に基いてその人の指紋の特徴パラメータ が入つているメモリのアドレスに変換するデコー

型部(6) に送り込む。画像処理部(5) ではその映像信号を一旦、 A / D 変換した後、パターン認識を行つて指紋のラインデータを出力する。また、特徴パラメータ油出部(6) はラインデータを特徴パラメータに変換して一致検出器(30) に加える。

ここで、一致検出器四は両特徴パラメータを比較して両者が一致したとき電気錠の解錠指令 CPEN を出力すると同時に表示器四を点灯させる。

続いて、表示器皿の点灯を確認した通行人は を開けて通行することになる。

一方、表示器四が点灯しないときは指を再び指紋リード面の選み (5a)に置くか、あるいは、IDカードを差し込む操作からやり直す。

かかる一致検出に疑して、ブリズム(8)の反射面にどのように指を押し当てるかが指紋判別精度に関係するものであるが、この実施例では指の形状に做つた選み(5a)を設けているので、指の方向、指の位置が確定され、しかも、指の押付圧力を変化させたとしても、平面上に押し付けた場合に比べて指紋の変形が少なく、これによつて指紋判別

ダ、(9) は各登録人の指紋の特徴パラメータを配位させてある特徴パラメータメモリ、四は特徴パラメータ油出部(8) の特徴パラメータメモリ(9) から就出された特徴パラメータとを比較して両者が一致したとき電気錠の解錠信号 OPBN を出力すると共に、通行可を示す表示器四を点灯させる一致被出器をそれぞれ示す。

上記のように構成された指紋判別装置において、 予め指紋を登録してある人がカードリーダ(のにID カードを差し込むと、IDコードがデコーダ(8)に 加えられる。ここで、デコーダ(8)が特徴パラメー タメモリ(9)のアドレスに変換して出力すると、そ の特徴パラメータが特徴パラメータメモリ(9)から 説出されて一致検出器(9)に加えられる。なお、カードリーダ(7)は数後にリードしたコードをランテ するので、特徴パラメータは一致検出器(4)に出力 されたままになつている。

次に、カードリーダ(7)にIDカードを差し込んだ人がプリズム(4)の強み (5a)に決められた指を置くと、カメラ(4)がこれを扱して映像借号を画像処

精度が格段に向上される。

以上、本発明を好適な実施例について説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、次の(a)~(e)項のように変形しても上述したと略同様な指紋判別が可能である。

- (a) 上記実施例ではプリズムに指を置いているが、 透光性の他の平板によつて指紋リード面を形成す る場合にはこの平板に移みを設ければよい。
- (D)指を置く位置をへとませる代わりに、周囲を盛り上げるようにしてもよい。
 - (c) 指の両機に縦長のガイドを設けてもよい。
- (4) 指を置く位置に指の形状を誓いてさらにその 位置を判りやすくしてもよい。
- (e) 光原、レンズ、ブリズム、カメラ等の光学系が他の構成であつても、指を雌く位置をへこませるという手法は上述したと同様に適用できる。

〔発明の効果〕

この発明は以上説明した通り、指紋リード面に 指を置くガイドを形成したので、指が置き易くな ると共に、指紋読取り精度を大幅に向上させるこ とができる。

4 図面の簡単な説明

図は本発明の一奥施例の構成を示すプロック図 である。

- (1):光源
- (2): レンズ
- (8): プリズム
- (34): 追み
- (4):カメラ
- (5): 画像処理部
- (6): 特徴パラメータ抽出部
- (7):カードリーダ
- (8): デコーダ
- (9):特徴ペラメータメモリ
- 때:一致検出器
- 000: 表示器

代理人 大 岩 增 堆

